

# 栗原市教育研究センター通信

第4号 平成28年6月発行

皆様には、日頃より教育研究センター事業の推進・運営につきまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、今年度も教職員向けに、幼稚園や学校の授業であったり、研修であったり様々な特色ある取り組みや先生方の日々の活躍の様子など、先生方が互いに生かせるものを『栗原市教育研究センター通信』として、市内幼稚園、小・中学校はじめ関係機関に発信してまいりますので、昨年に引き続きご高覧いただきますようお願いいたします。

## 「午前5時間制」にチャレンジ！ 【栗駒小学校】

今回は、今年4月から「午前5時間制」（午前5時間授業）を実施している栗駒小学校の石川純一校長先生と教務主任の白鳥清文先生に導入までの経緯やメリットやデメリットなどについてお伺いしました。

石川校長先生が「午前5時間制」の導入をお考えになった背景には、昨年度末の学校評価で児童の半数近くがスクールバスでの通学のため、放課後の時間に余裕がない、特に冬は会議の時間を確保するのが難しいなどの意見が出され、何とかしたいとの思いがあったそうです。

そのとき、平成27年度から導入している栗駒南小学校での様子を聞き、栗駒小学校でも導入することにしたそうです。

これまでに経験したことのない取り組みということもあり、1週間ほどの試行を行い、導入の準備をするなかで、午前中に5時間授業するのはなかなか苦しいところもあるが、チャレンジしてみようと職員に声を掛け、4月からの本格実施にたどり着いたということでした。

4月当初は、慣れないこともあり戸惑いも多かったとのことですが、時間を経るにしたがい次のようなメリットが見えてきたそうです。

- ・放課後に遊ぶ時間ができ、子どもたちは喜んでいる。
- ・陸上大会に向けての練習時間が確保でき、しかも全職員がかかわることができた。
- ・放課後の時間の使い方の自由度が増した。
- ・補習やスキルアップの時間が確保できた。
- ・諸会議の時間の確保も容易になった。



石川校長先生（右）と白鳥先生（左）

他にも、週時程を工夫し、火曜日の1校時を朝会や集会の時間としたことは、それぞれの内容や活動を充実したものにすることも大変よかったと、改めて振り返っておられました。

教務主任の白鳥先生も、教育課程の実施状況や時数の確保にも確かな手ごたえを感じているようで、石川校長先生と口をそろえて、7月に実施予定の中間学校評価で先生方からどのような評価が得られるか楽しみだと話されていました。

また、これまでに経験していないことへのチャレンジで、大変なこともあります。子どもたちと向き合う時間をできるだけ確保したいという先生方の前向きな思いがうれしいとも話されていました。さらに、今後モジュール学習などの導入にも対応できると期待もされていました。

# 「外で遊ぶ子どもが増えた」

## 【栗駒南小学校】

「実施前に比べ、放課後の時間を楽しみにしている子どもが増え、多くの子どもが外で遊ぶようになった。『午前5時間制』が子どもの生活のリズムとして定着している。」と話してくださったのは、昨年4月から、「午前5時間制」を実施している栗駒南小学校の教務主任である遠藤俊哉先生です。

昨年度1年間「午前5時間制」を実施してみての様子を、この4月に赴任した野澤恵美校長先生と導入にかかわった教務主任の遠藤俊哉先生にお話を伺いました。

野澤校長先生は、この4月に栗駒南小学校に赴任し、「午前5時間制」は初めてということで、不安もあったそうですが、子どもや先生方の様子からそのメリットも実感でき、今は校長先生ご自身もそのリズムに慣れてきたと話されています。

野澤校長先生、教務主任の遠藤先生からお聞きしたことをまとめると次のようになりました。



### スクールバスにより学校時間が制約される

- ・児童にとって・・・放課後に遊べない
- ・教師にとって・・・補充学習等ができない
- ・地域や保護者・・・体力が心配、外遊びしない



「午前5時間制」を導入（H27.1～3 試行・H27.4～本格実施）

### 実施のメリット・デメリット

- 放課後の時間に余裕ができた
- 放課後の時間を利用し、個別指導ができる
- 朝ごはんをしっかり食べてくる子どもが多くなった
- △給食までお腹がすくのではという心配の声
- △午前中の職員の多忙感



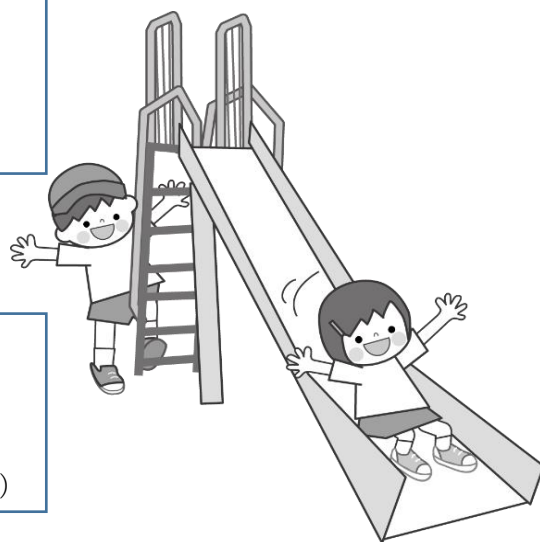
### 児童・保護者・職員の声

- ・概ね良好（児童・保護者・職員）
- ・放課後の時間が楽しみ（児童）
- ・子どもたちが外で遊ぶようになった（教員）
- ・はじめ心配していたようなことはなかった（保護者）



### 実施しての成果と課題

- 多くの子どもが外で遊ぶようになった
- 子どもの生活リズムとして定着している
- ◎子どもの集中力が続くようなタイムテーブルの工夫
- ◎放課後の時間の有効活用（職員の意識の高揚）



### 発行責任者

栗原市教育研究センター  
所長 原 吉宏  
栗原市金成沢辺西大寺1-5  
TEL/FAX 42-1157  
教育相談専用電話 42-1230